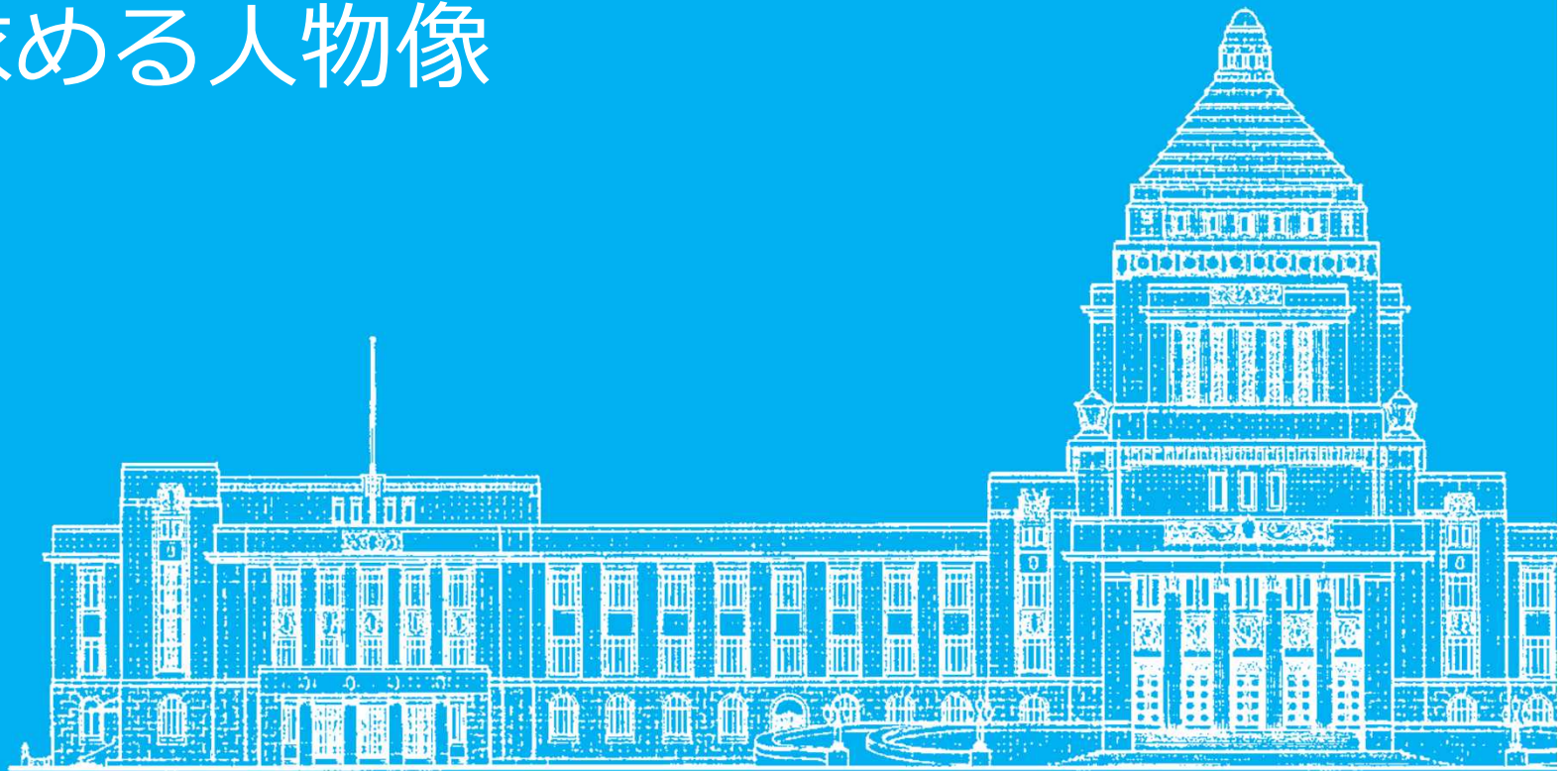


Part 3 まとめ

- ・ 衆議院法制局の職務の特徴
- ・ 求める人物像



衆議院法制局の職務の特徴

Point①

立法府の職員

- あらゆる議員・政党を依頼者とし、**公平・中立**に補佐
- 依頼者たる国会議員の**政策判断**をサポートする立場



Point②

国家公務員

- 社会的な課題の解決に**マクロの視点**から取り組む

Point③

法律の専門職

- **議員立法の立案**に特化し、その過程に**深く関与**
- 少人数で、**横断的にあらゆる政策分野**を所掌

Point1 立法府の職員として

Point①

立法府の職員

➤ あらゆる議員・政党を依頼者とし、**公平・中立**に補佐

➤ 依頼者たる国会議員の**政策判断**をサポートする立場

- ◆ 同一の案件について、複数の議員・政党から依頼を受けることも多い
- ◆ その議員・政党の立場に立って全力で立案

- ◆ 政策決定権限を有する国会議員が的確な判断をできるよう、正確かつ十分な情報と選択肢を提供

Point2 国家公務員として




Point②

国家公務員

- 社会的な課題の解決にマクロの視点から取り組む

◆ 将来にわたって、全国的に、制度面から、抜本的な解決を目指す

Point3 法律の専門職として



衆議院 法制局

- ◆ 政策構想の段階から法案の成立に至るまで、立法過程に深く関わる(⇔内閣法制局)
- ◆ 課題解決の手段として、議員立法の立案に特化(⇔予算編成・法施行後の監督等も行う行政府)

- ◆ 1つの課で法分野をまたがる案件を担当し、複数の所管省庁とやりとりすることも
- ◆ 2~3年程度で異動し、様々な分野を経験

Point③

法律の専門職

- 議員立法の立案に特化し、その過程に深く関与
- 少人数で、横断的にあらゆる政策分野を所掌

求める人物像



法律の知識を用いて、内容の固まっている政策を
条文化するだけならつまらなさそうだなあ…。

- 議員と綿密にやりとりをしながら、その政策のイメージを具体化するお手伝いをするため、高い**コミュニケーション能力**が求められます。
- 法的素養だけでなく、**議員の大胆な政策に応える柔軟な発想力**も大切です。

各自で黙々と六法と格闘するのかな？
そういう地道な作業なら自信があるぞ！



- コツコツ作業に取り組む**粘り強さ**が求められます。
- 課としてチームで積極的な議論や意見交換をしながら条文を練り上げていくため、高い**協調性**も必要となります。

皆さんと一緒に働ける日が来ることを
楽しみにしています。



ご視聴ありがとうございました。